

浦添市地域公共交通会議
第 2 回委員会議事要旨

日時：令和 2 年 2 月 19 日（水）

9：15 ～ 10：45

場所：浦添市立中央公民館分館 2 階 ホール

浦添市牧港 3 丁目 40-6

■報告②：コミュニティバス実験運行に向けた調整状況（資料 2）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
<p>一般社団法人 沖縄県バス協会 慶田委員</p>	<p>① 資料 2 の 4 頁目のスケジュールにおいて、バス乗務員が不足していたため、入札が不調になったという理解でいたが、バス事業者にヒアリングすると乗務員は確保しており、入札金額が合わなかったために折り合いがつかなかったと聞いた。どちらが正しいのか確認したい。</p> <p>② 事務局はしっかりと事実に基づいた資料整理を行って頂きたい。改めて資料整理する必要があるのではないかと考えるが如何であるか。変更等が無いのであれば、只今説明された内容での理解ということによいか。</p> <p>③ 市として、財源の確保が厳しいため、次のステップの提案がこれから示されるという理解によいか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 昨年度からバス事業者とは調整を行っており、平成 31 年 3 月に見積を頂いていた。それらを参考に予算組みを行い、実験を計画した。業務発注前にバス事業者から再度頂いた見積では 3 月時点より高くなっておりましたが、3 月時点に頂いていた運行金額で業務発注を行った。</p> <p>結果、入札不調となってしまったが、不調の要因としては、乗務員確保、車両確保、委託額等の課題があったと考えております。</p> <p>② 説明した内容での理解ということによい。</p> <p>③ これから提案内容を示す。</p>

<p>沖縄県土木建築部 中部土木事務所 真栄里委員</p>	<p>① 昨年度の地域公共交通会議では、コミュニティバスの採算性も議論されたが、採算性の試算はバス事業者との調整に基づいた内容であったのか。</p> <p>② 昨年度、本会議の場で採算性を議論して金額が認められたが、会議外のところ状況が変わり、バス事業者が透明性を求めるのであればその過程を整理する必要があるのではないかと考える。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① バス事業者から提供して頂いた単価を基に積算した。なお、既存の一般的な単価もあったが、人件費や燃料費の高騰もあることを考慮し、予算を確保した。なお、バス事業者としても4月以降に人事の変動やバス乗務員のやり繰りの中で、減便対応等、様々な事情があったことは理解している。ただし、市としては、発注の段階では元々予定していた予算で入札にかけざるを得なかった。</p> <p>② 過程を整理する。</p>
<p>私鉄沖縄県労働組 合連合会 喜屋武委員</p>	<p>① 貸切事業者やその他の事業者からは、どのような提案があったのか参考に教えて頂きたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 基本的には浦添市が元々提案していた内容で実施したいという話があったが、人員の確保や車両の確保に課題があり、進展しなかったほか、バスの便数を1時間に1便とする等提案があったが、本会議において必要と議論していた条件と折り合いがつかなかった。</p>

<p>(一社) 沖縄県 ハイヤー・タクシー 協会 稲益代理</p>	<p>① バス事業者の乗務員不足により、市民の利便性が確保できないのであればタクシーが代わりに運行するというので、我々がデマンド運行を提案した。しかし、実際は手を挙げたバス事業者もいたが、入札金額が合わずに不調になったということについて、もう少し詳しく教えてほしい。</p> <p>(大城会長)</p> <p>② 今の説明は4社とも応札してもらえなかったという理解でよいか。</p> <p>③ 前回の議事録において、オンデマンド型乗合システムについてタクシー協会が手を上げることへの承認では、バス事業者及びバス協会が承認されていないことが気になる点である。</p> <p>④ バス事業者も了承してタクシー事業者がデマンドを実施するという判断でよいか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 今回の入札方法として、コミュニティバス実証実験業務は市からコンサルに発注し、受託したコンサルがバス事業者にバスの運行を委託するという形をとっていた。その中で、実証実験業務の入札前にコンサルからバス事業者に運行委託業務の受託可否の確認をとってもらったが、バス事業者より確約が取れなかったため、全てのコンサルが入札できずに辞退となった。</p> <p>② コンサルからの運行委託をどのバス事業も受けることができなかったため、必然的にコンサルも入札に参加できなかったということになる。</p> <p>③ この時は、国の補助メニューにエントリーすることへの承認確認であり、実際にエントリーして採択された場合には、本会議で運賃や運行エリアについてバス事業者とも調整を図るという流れになっていた。あくまでも、前回は補助メニューへ申請してよいかという議論であった。</p> <p>④ これから本会議の中で説明させて頂く。</p>
---	---	---

■報告③：沖縄振興特定事業推進補助金への申請結果について（資料3）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
<p>(一社) 沖縄県 ハイヤー・タクシー 協会 稲益代理</p>	<p>① デマンドに使用する車両として、ジャンボタクシー10人乗りを12台と記載されているが、タクシー事業者が12社参入するということが良いか。また、12台の必要性の根拠は何かであるのか説明して頂きたい。</p> <p>② 浦添市では、高齢者や免許を持たれていない方がどれだけ利用するか等、車両が何台必要か試算されたのか。</p> <p>③ ジャンボタクシーを12台準備する場合、多くのコストがかかる。タクシー協会としては実際に車両が何台必要かに応じて、実験に参入する事業者を決める必要がある。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① ジャンボタクシー10人乗りを12台というのは、事業者からの提案である。</p> <p>② 詳細な試算は行っていない。なお、事業実施にあたっては採算性が重要となるが、採算性の面で12台は必要であるということで報告を受けている。</p> <p>③ 本報告内容は、国の補助メニューとして、民間事業者がエントリー可能な枠での話である。今回は採択されなかったことから、次は市の予算で実験を行えないかという流れになっている。</p>

■報告④：浦添市デマンド交通実証調査の背景と目的について（資料4）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
<p>(一社) 沖縄県 ハイヤー・タクシー 協会 稲益代理</p>	<p>① 資料4の7頁目において、デマンド交通を導入している地域が4つ挙げられているが、この中で補助金を活用している地域はあるのか。</p> <p>② 那覇市では何故補助金を活用していないのか。</p> <p>③ 那覇市の真和志地区のデマンドタクシーは毎回赤字である。真和志地区は坂道も多く、道も狭い状態であり、輸送機関もバスのみであるため、地域の方の助けになるよう、民間のタクシーでデマンド運行を実施している。事業をやる以上は継続して実施することが重要であるため、利用者への認知が重要である。</p>	<p>① 那覇市を除く3地域で補助金を活用している。</p> <p>② 那覇市ではタクシー事業者自身で取り組んでいただけていると理解している。</p> <p>③ 本市としては、地域に下りて説明し、利用促進に取り組んでいきたいと考えている。</p>

■議案①：浦添市デマンド交通実証調査に向けた検討内容（資料5）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
<p>一般社団法人 沖縄県バス協会 慶田委員</p>	<p>① 資料5の留意点において、タクシー事業者等との競合回避に向けた配慮が必要であるという記載しかないのが残念。バス事業者に対する影響はないのか。</p> <p>② 本素案を作成するにあたり、関係するバス事業者との調整はあったのか。</p> <p>③ バス協会からのお願いとして、那覇バス、琉球バスにも十分に説明して頂きたい。</p> <p>④ 資料中の文言として、タクシー事業者等との競合回避に向けた配慮だけでなく、路線バスに対する配慮という文言も追加できないのか。既存路線バス事業者についても配慮して頂きたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 資料6の下部に記載しているが、既存公共交通事業者であるモノレール、路線バス事業者、タクシー事業者すべてに合意形成に向けた調整を行って進めて行くという考えを持っている。</p> <p>② 沖縄バスと東陽バスには説明を行った。しかし、那覇バスと琉球バスについては日程が合わず、説明できなかった。本会議の場で各事業者には計画内容を説明するほか、会議結果を踏まえて事業者と調整し、丁寧に進めて行きたいと考えている。</p> <p>③ 那覇バス、琉球バスにも説明させて頂く。</p> <p>④ 資料4の5頁目のパーソントリップ調査結果における交通手段分担率でも路線バスに影響があることが考えられるため、バスへの配慮も記載する。 ※（修正済み）</p>
<p>沖縄県土木建築部 中部土木事務所 真栄里委員</p>	<p>① バス事業者は OD データを持っているため、事務局はバス協会に依頼してデータを提供してもらい実験の影響を検証する必要がある。</p> <p>② 事務局の考えを整理して、バス事業者に説明してほしい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 手元の資料もデータが古い物が多く、現況データを頂きたいと考えているため調整を進めていく。</p> <p>② バス事業者と調整させて頂きたい。また、バス事業者も win-win になるように取り組みたい。</p>

<p>沖縄総合事務局 運輸部 (陸上交通課) 小谷委員</p>	<p>① 既存事業者との競合回避という点について、ガイドラインとしては、既存の交通事業者を活用しながら地域の公共交通ネットワーク充実が求められる。またガイドラインには、路線、区域、運行時刻等において路線バスとの整合性を図るよう十分に留意する必要があるという記述もあるため、そこも配慮して頂ければと思う。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 補足として路線不定期運行及び区域運行は、利用者利便の確保のため、路線定期運行との整合性が取られているもの、地域公共交通会議で合議が諮られているものという表現となっている。</p>
---	---	---

■議案②：浦添市デマンド交通システム（素案）（資料6）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
<p>琉球大学工学部 准教授 神谷委員</p>	<p>① 資料4～6をとおして、誰のどのような移動をサポートしたいのか、その積み上げをする必要がある。問題の構造を可視化し、それを積み上げた形での整理の仕方をした方がよいと思う。例えば、神奈川県では、国保のデータベース（KDB）のデータを使って、誰が何処へどれ位の頻度で移動しているのかという情報を基に話をしている。来月の委員会では期間も短いため難しいと思われるが、移動の支援のためにどのデータをどう加工してという点で整理して頂いた方がよいのではないかと考える。例えば、朝7時台は通学に特化し、8時30分～9時30分はお年寄りの通院に特化する等で使い方を整理する方法もあるのではないかと思う。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 参考にさせて頂きたい。なお、市としては、地域に下りて行き住民の意見を聴く予定である。なお、本来はコミュニティバスを走らせて、そのデータを基にデマンド運行する予定であった。市としてはお願いすることになるが、デマンド運行した上でデータ解析しながら、どのようなターゲットに絞るのかを考えて行きたいという方向性である。</p>

<p>浦添市老人クラブ 連合会 金城委員</p>	<p>① 地域の方々はコミュニティバスの運行を期待していた。デマンドタクシーは老人に様々な問題があると感じたが、時間もないためデマンドタクシーを実施してもらいながら問題を修正して頂きたい。なお、コミュニティバスは、定期路線でデマンドのように予約は不要であるため、老人には使いやすいと考えている。コミュニティバスとデマンド運行を実行するには、運転手の確保が重要であると考えている。そこで提案として、NPO 法人等を立ち上げて運転手を確保してはどうかと考える。</p>	<p>① 事務局としては、市で事業ができるようになれば、バス運転手確保に関する CM 作成や広報誌に 5 万部程度チラシを入れて配布する等あらゆる手段を活用して運転手確保に向けて取り組んでいきたいと考えている。事業者と行政が一緒になって取り組んでいきたい。</p>
<p>那覇バス株式会社 小橋川代理</p>	<p>① デマンド運行時の留意点として、南城市と糸満市ではフルデマンドで運行しているが、赤字補助路線も運行している地域である。一方、浦添市では状況が異なる。また、バスは大量輸送を得意とし、タクシーはきめ細かいサービスが出来るという特徴があるため、それぞれの特徴を活かした役割分担に留意して計画を検討して頂きたい。</p> <p>② デマンド交通実証調査の実施期間を教えてください。</p>	<p>① 留意するよう検討する。</p> <p>② 1 年間で予定している。</p>

<p>(一社) 沖縄県 ハイヤー・タクシー 協会 稲益代理</p>	<p>① 本来、本計画はバス協会がやることであるが、乗務員不足等の理由でタクシー事業者が代わりに引き受けるという認識で良いか。</p> <p>② バス協会にもしっかりと説明して了承を得て、計画を進めるようお願いしたい。また、各自治体でデマンド運行に関する情報を共有して頂きたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 昨年の計画において、先ずは、バス事業者にコミュニティバスを運行してもらい、コミュニティバスではカバーできない公共交通空白地域についてデマンドも導入する予定であった。コミュニティバスの運行が現状厳しい状況であるため、実施順番が入れ替わっただけである。</p> <p>② 留意し、調整を進めたい。</p>
<p>沖縄バス株式会社 大城委員</p>	<p>① デマンド運行では、公共交通空白地域をカバーして頂きたい。既存路線バスと競合して運賃収入が減少すると、路線バスの減便や撤退に繋がることもあるため、気をつけて計画を進めて頂きたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 留意するよう検討する。</p>
<p>一般社団法人 沖縄県バス協会 慶田委員</p>	<p>① 本計画のデマンド運行は、道路運送法の何条で実施するのか。</p> <p>② 21条であれば、運行は公共交通空白地域になるはずであるので、公共交通空白地域を埋めるような運行になるよう計画内容をよく検討して頂きたい。また、事業者に対する十分な説明もお願いしたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>① 道路運送法第 21 条での実施を考えている。</p> <p>② 計画内容を検討する。また、事業者にも説明させて頂く。</p>

<p>浦添市副市長 大城会長</p>	<p>① 本会議を受けて修正・提案等のあった内容については、事務局に次回の委員会までには資料を修正してもらい、報告させて頂く。また、交通事業者との合意形成に向けた調整を行った上で次回の会議までの準備を進めて頂きたい。このような進め方で問題無いか。</p>	<p>(各委員)</p> <p>① 異議なし。</p>
------------------------	---	-----------------------------